

国道7号遊佐象瀉道路 (仮)奈曾川橋上部工工事 工事概要

1. 施工箇所 位置図



※1 用地買収、埋蔵文化財調査が順調に進んだ場合
 ※2 軟弱地盤対策工事や大規模橋梁工事等が順調に進んだ場合

2. 施工箇所 航空写真

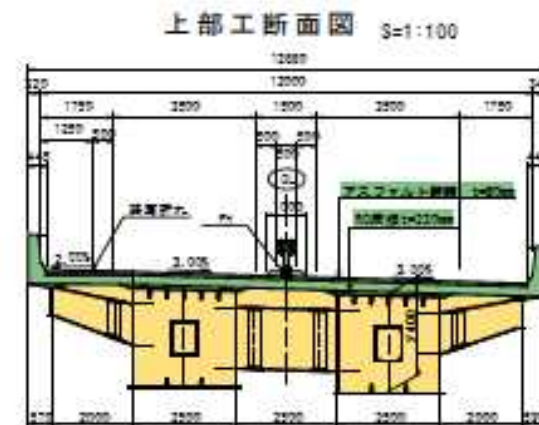
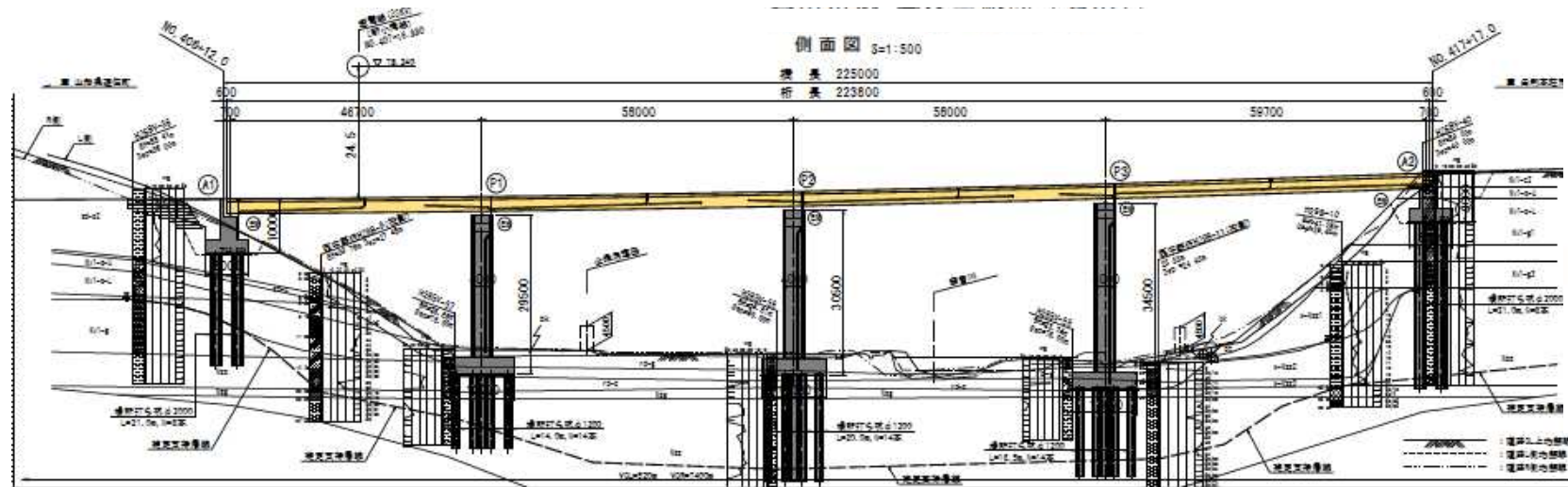


至 秋田

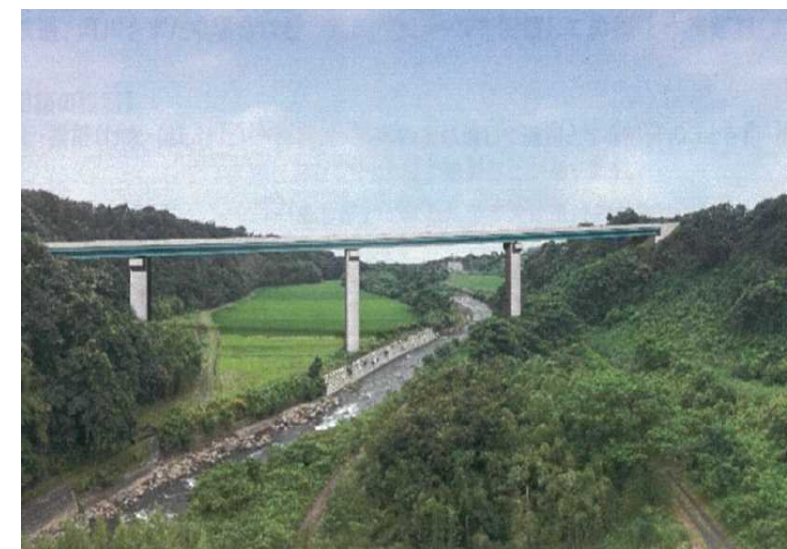
(仮) 奈曾川橋

至 酒田

3. 橋梁概要



完成イメージ



橋梁形式、橋長	鋼4径間連続非合成箱桁橋、L=225m
下部工形式	逆T型橋台 (A1: 10m, A2: 9m) 張出し式橋脚 (P1: 29.5m, P2: 30.5m, P3: 34.5m)
基礎形式	場所打ち杭φ2000 (A1:L=21.0m, N=6本, A2:L=31.0m, N=6本) 場所打ち杭φ1200 (P1:L=14.0m, N=14本, P2:L=20.0m, N=14本 P3:L=16.5 m, N=14本)

4. 施工方法

送出し架設工法

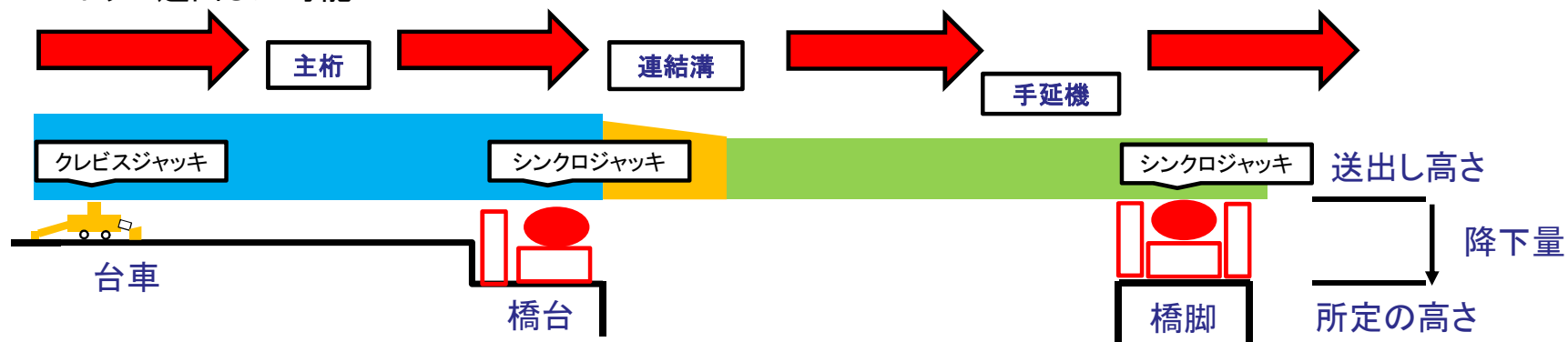


①シンクロジャッキ

クローラーが回転し、連続的に桁を受けることで
ノンストップ送出しが可能

②クレビスジャッキ

軸方向に伸び縮みする油圧ジャッキ
ジャッキのストローク1mごとに盛替えが必要



4. 施工方法

足場の設置



支承、軌条レール・台車の設置



桁の組立て



桁の送出し



手延機の解体

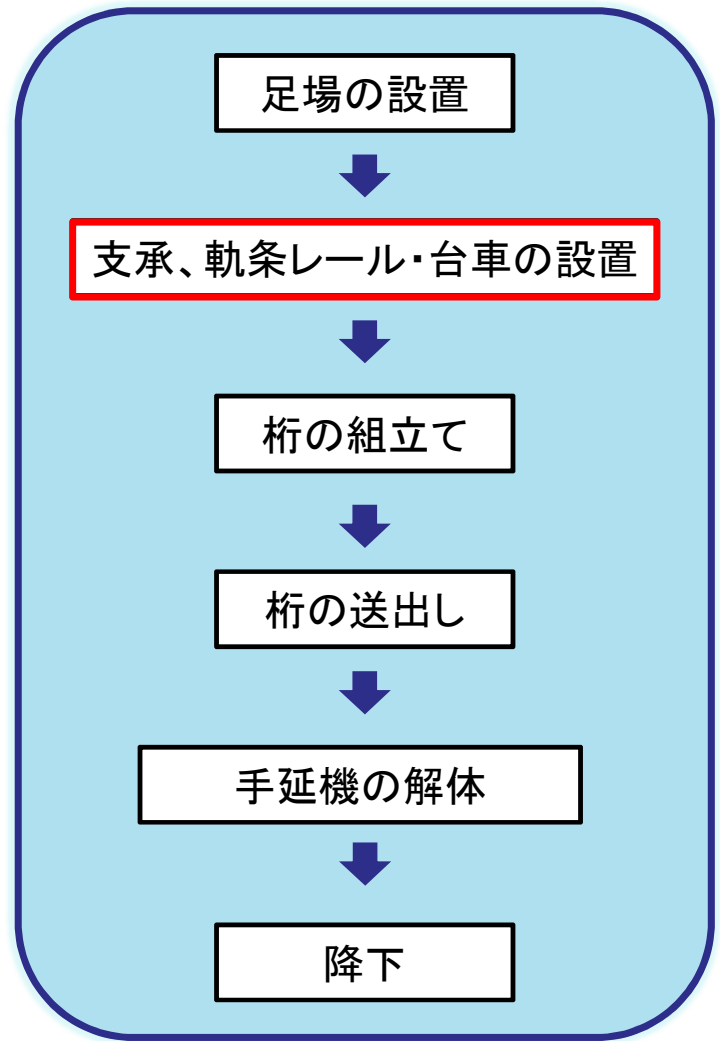


降下

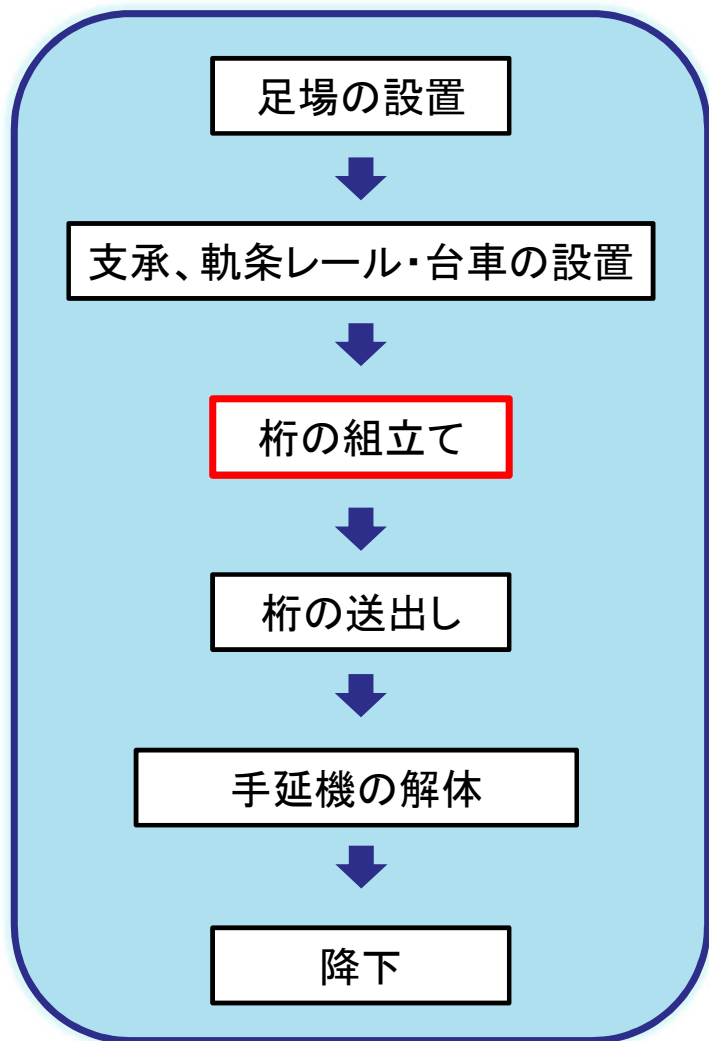


ワイヤーブリッジ足場

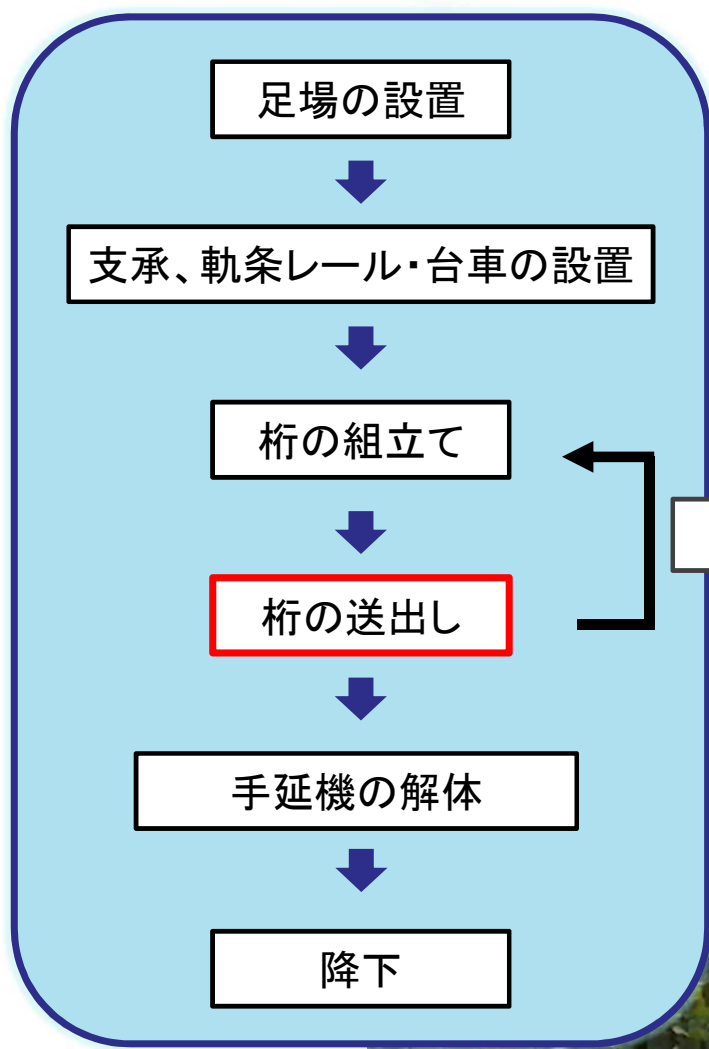
4. 施工方法



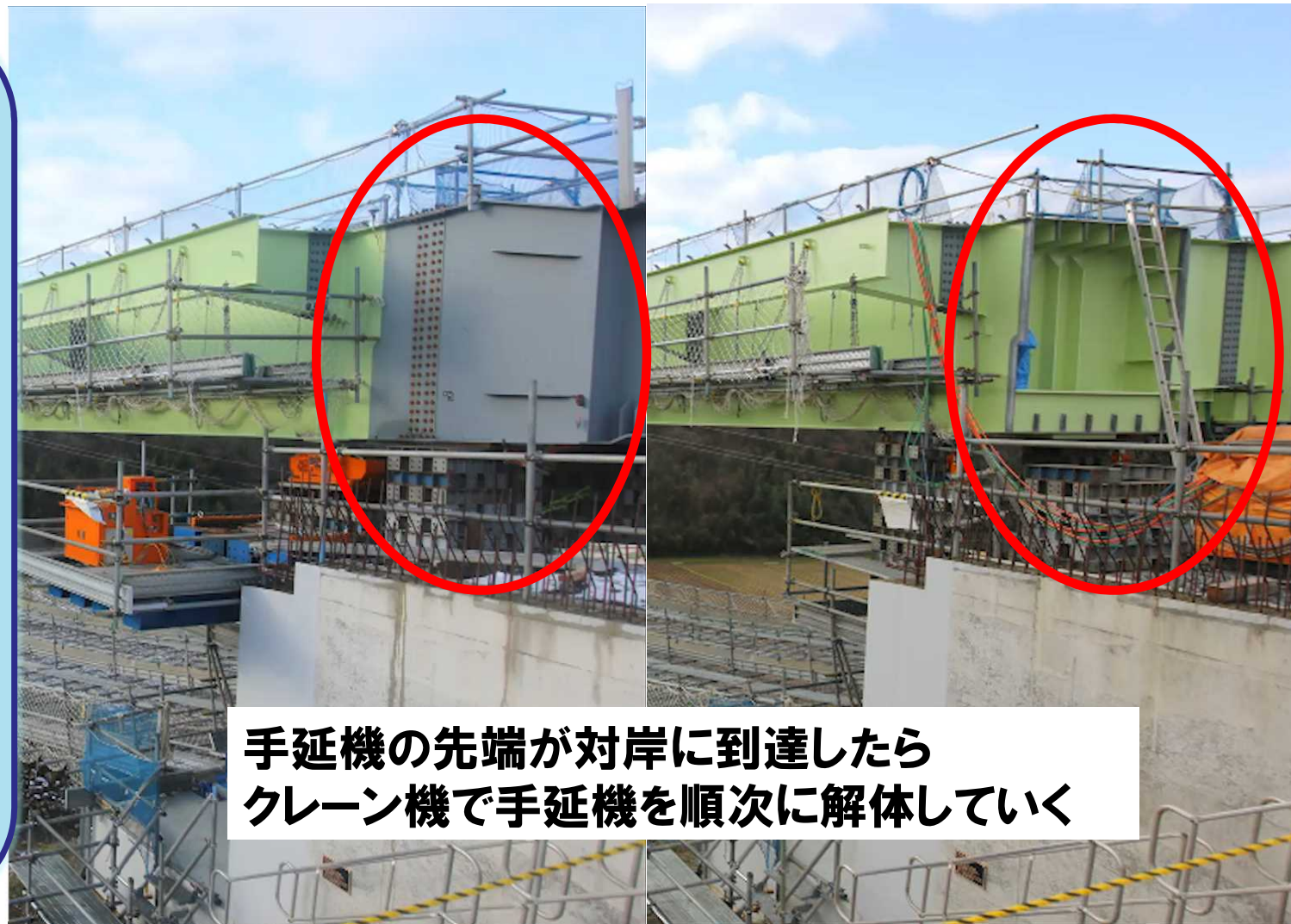
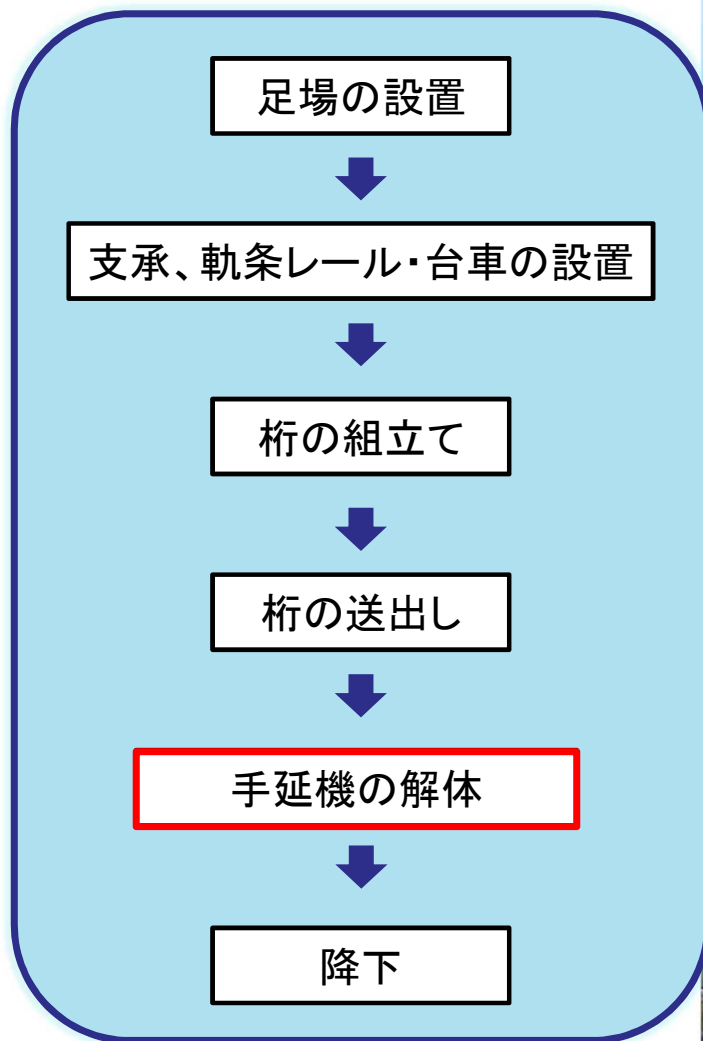
4. 施工方法



4. 施工方法



4. 施工方法



4. 施工方法

